

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成17年度～	
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	07 健やかで生き生きしたまちづくり
	小項目	施策	02 病院事業
事務事業名		09	吉永病院運営事業
根拠法令・例規等		医療法 備前市国民健康保険病院条例	
問		担当課(室)	市立吉永病院 事務部
合		職・氏名	庶務係長 久次圭一
先		電話	0869-84-2120
このシート作成に要した時間		5.0 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	出資者である市民
目的(何のために)	市立吉永病院の基本理念に基づき、安心・安全で地域に開かれた医療の提供と、計画的・効率的な病院経営の推進を図る
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	患者さんに親しまれ、信頼され、必要とされる病院とする。また、経営の改革と基盤強化に取り組み、安定した病院経営とする

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
病院経営(各種委員会)	病院の機能評価・業務・医療改善		
労務管理	病院職員の労務・健康管理		
施設管理	病院施設の管理		
財務管理	病院運営の財務管理		
その他庶務	法令・条例に沿った病院運営の庶務		

右欄の評価の説明

<妥当性評価>
市民からの要望に対して各種委員会で実情調査とその対応について協議し、可能なものは早期に改善して応じた。市民意識調査において病院事業は重要度が高いと評価されていて、医師・看護師の確保に努め安定した医療提供が求められている。

<効率性評価>
委託・賃借料の複数年契約の実施等により経費削減に取り組む。職員全員がコスト意識を持ち業務に当たる。

<有効性評価>
患者さんに親しまれ、信頼され、必要とされる病院とするために、安定した医療の提供を行なうことが最大の目的となる。

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費		63,011	28,790	55,633	
	必要人員人件費	千円	5.00人 49,332	4.94人 47,055	5.03人 47,208	
	事業費計		112,343	75,845	87,488	
	国県支出金		284	284	284	
	受益者負担					
	繰入金	千円				
その他()						
一般財源						
受益者負担比率	%		112,059	75,561	87,204	
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
結果指標	院内会議・各種委員会	説明	院内会議	各種委員会	院内会議	各種委員会
	結果指標量	事業	210	590	260	600
	対前年比	%	106.1%	100.2%	123.8%	101.7%
	活動コスト	円	4,124,137	11,586,863	2,359,348	5,444,651
単位当たりコスト			19,639	19,639	9,074	9,074
				10,015	10,015	

事業の成果						
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値	
決算における純利益の計上及び留保資金の確保	目標値(A)	100	100	100	100	
	実績値(B)	93.9	94.3	91.8	到達目標値	
	達成率(B/A)	93.90%	94.30%	91.80%	18億円以上	
成果指標設定の考え方・式や説明						
安定した病院経営を維持するため、成果指標を純利益1千万円に設定。また、23年度以降、病院建設費にかかる企業債元金の償還金が始まることから、引き続き運用資金の拡充を図る必要がある。このため到達目標として、留保資金18億円以上を設定した。(流動資産-流動負債) 19年度=1,689,460千円 20年度=1,698,150千円 21年度=1,651,575千円						

事務事業の評価		妥当性評価 <A-E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	A
	市民ニーズ	
効率性の評価	コスト	B
	目的達成度	A
有効性の評価	市民参画度	

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
説明	事業全体の中で可能な部分について効果的な事業を実施する。備前市病院事業検討委員会において、地方独立行政法人化及び指定管理者制度導入について、また、経営統合やネットワーク化について検討する事としている。					

総合評価		評価区分 <A-E>
経営安定化を維持するため、経営分析等を行うとともに、院内各種委員会の活性化を図り経営効率を高めてきた。院内会議で経営改善に向けた検討 患者からのご意見に対する対策の検討 各部署の課題を検討 情報の共有 診療報酬の減点対策等を協議した。その他各種委員会で医療事故及びヒヤリハット事例の検証と対策また、院内感染予防対策等を協議した。職員の資質向上のため、積極的に研修会への参加を促すとともに、院内研修を毎月1回以上開催し、接遇、専門領域の知識習得に努めた。今後も、職員の資質向上とモチベーションを高め、安定運営をめざす。		B

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
取組目標	患者ニーズに沿ったサービスの提供を実施すると共に、電子化による3病院の連携の充実や経営の統合、経費削減に努め健全経営を目指す。					

事業の目的、対象内容を考えてから妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項の目的やその数値目標を達成するための結果指標

